

○子育て支援員(仮称)基本研修(案)の検討には、次の点に留意する必要がある

1. 対象となる児童の年齢による違い
→対象となる子どもの年齢層が、0歳から18歳までと幅広い
2. 事業の規模による違い
→地域保育コースでは、19人以下の小規模保育から1名を原則とするファミリー・サポート・センターまでと保育内容に差がある
3. 子どもとの関わりによる違い
→子どもとの関わりが直接的なものから、少ないものまで幅が広い
(利用時間の長短や利用形態の差(児童養護施設は生活の場))
4. 事業の特性による違い
→保育だけでなく、より丁寧な配慮を必要とする児童養護施設やソーシャルワーカー的な役割を担う利用者支援まで幅が広い

○子育て支援員(仮称)に求める研修内容(=スキル)の視点

→事業によっては、必ずしも求められないものが含まれるが、子育て支援の担い手として隣接領域・関連事業についての基礎知識の習得が必要

1. 子ども・子育て家庭の現状、課題、背景等を理解しているか
2. 子ども家庭福祉施策に関する基礎知識を有しているか
3. 子どもの発達の基本を理解しているか(※)
4. 保育の目的原理を理解しているか(※)
5. 対人援助の価値と倫理を理解しているか(※)
6. 子どもの虐待に関する基礎知識を有しているか
7. 障害児の理解と支援に関する基礎知識等を有しているか(※)

※対象とする年齢等により、研修内容が異なるため基本研修では基礎的なものにとどめ、事業特性や年齢等に応じた内容は専門研修によって習得

 **以上の留意点と視点により、基本研修の内容を見直し**

基本研修の内容

(事務局案)

科目名	区分	時間数	内容
①子育て支援員制度の概要	講義	60分	①子ども・子育て支援新制度の概要 ②「子育て支援員(仮称)」の役割
②児童福祉の概要	講義	60分	①児童福祉制度に関する概要 ②児童福祉制度の現状と課題 ③相談援助活動
③子どもの発達	講義	60分	①発達への理解 ②発達への援助 ③胎児期から青年期までの発達
④子どもへの援助・関わり方	講義	60分	①子どもの生活への援助 ②気になる行動への対応
⑤子どもの遊びの理解	講義	60分	①「遊び」の意義 ②年齢に応じた遊びの内容

(見直し案): 科目名・内容等はおおよそのイメージ

科目名	区分	時間数	内容
①子ども・子育て家庭の現状	講義	60分	①子どもの育つ社会・環境 ②子育て家庭の変容 ③ワークライフバランス
②子ども家庭福祉	講義	90分	①子ども・子育て支援新制度の概要 ②子ども家庭福祉施策の理解 ③子ども家庭福祉に係る資源の理解
③子どもの発達	講義	60分	①発達への理解 ②発達への援助 ③胎児期から青年期までの発達
④子育て支援員の役割と倫理	講義	90分	①保育の原理 ②対人援助の価値と倫理
⑤子ども虐待と社会的養護	講義	90分	①子どもの虐待と影響 ②虐待の発見と通告 ③虐待を受けた子どもに見られる行動 ④子どもの権利を守る関わり ⑤社会的養護の現状

科目名	区分	時間数	内容
⑥保護者への支援	講義 演習	90分	①保護者への支援 ②保護者との関わりと対応 ③相談・助言の原則
⑦緊急時の対応	講義	60分	①子どもの事故と予防 ②子どもの疾病等 ③緊急時の対応
⑧子どもの虐待	講義	60分	①子どもの虐待と影響 ②虐待の発見と通告 ③子どもの権利を守る関わり
⑨障害児への理解	講義	90分	①障害児支援制度の理解(合理的配慮を含む) ②障害特性に応じた関わり方・専門機関との連携 ③障害児支援サービス等の理解
9科目		10時間	

科目名	区分	時間数	内容
⑥子どもの障がい	講義	60分	①障害児支援制度の理解(合理的配慮を含む) ②障害特性に応じた関わり方・専門機関との連携 ③障害児支援サービス等の理解
6科目		7.5時間	

子育て支援員(仮称)研修の見直し後の構成

(基本研修)

①子ども・子育て家庭の現状	②子ども家庭福祉	③子どもの発達
④子育て支援員の役割と倫理	⑤子どもの虐待と社会的養護	⑥子どもの障がい

(専門研修) 科目は事務局案。基本研修において履修する基礎的内容を踏まえ、事業特性や年齢等に応じた内容として不足するものや、質の維持・確保に必要と考えられるものを追加

放課後児童クラブコース	社会的養護コース	地域保育コース		地域子育て支援コース
①放課後児童クラブの目的と役割・機能	①保護を要する子どもの理解(虐待を受けた子どもの理解を含む)(養護原理)	①家庭的保育の概論(※)	⑦家庭的保育の内容(※)	①利用者支援事業の概要
②遊びの支援と実践	②地域における子育て支援サービス(児童福祉論)	②食事と栄養	⑧家庭的保育の環境整備(※)	②地域資源の概要
③子どもの発達理解(特に学童期の発達についての基礎知)	③子どもの心の発達(発達心理学)	③小児保健Ⅰ	⑨家庭的保育の運営と管理(※)	③対人援助に求められる基本姿勢と倫理(基本研修で行われるものを除く)
④家庭の役割、家庭での養育に対する理解	④子どもの権利擁護と虐待防止(職業倫理と障害児への合理的配慮を含む)	④小児保健Ⅱ	⑩家庭的保育者の職業的倫理と配慮事項	④記録の取り扱い
⑤放課後児童クラブのチームワーク	⑤社会的養護における家庭養護及び里親制度の基礎(里親養育論)	⑤心肺蘇生法	⑪見学実習オリエンテーション	⑤事例分析(実習)
⑥補助員の仕事の内容	⑥施設見学及び調理実習(実習)	⑥実施自治体の制度について	⑫見学実習(2日以上)	
⑦見学実習				

(※)は、小規模保育等の事業も含め研修内容とすることが考えられる科目